

令和7年度 高根沢町教育委員会（12月）会議録

会議の日時	令和7年12月17日（水） 開会 午後3時00分 閉会 午後4時30分	場 所	高根沢町教育委員会 会議室
教育長及び出席委員の氏名	(教育長) 坂本 美知夫 (委員) 中野 謙作 齋藤 君世 佐藤 豪男 岡本 多香子	説明員及び書記氏名	(学校教育課) 課長 加藤 敦史 課長補佐 小林 賢治 課長補佐兼管理主事兼指導主事 今平 紀章 係長兼指導主事 村上 浩史 係長 渡邊 正道 主事（書記） 細谷 光司 (こどもみらい課) 課長 齋藤 雅人 課長補佐 岩本 紀男 (生涯学習課) 課長 石嶋 良憲 課長補佐 赤羽 康弘 係長兼社会教育主事兼指導主事 野尻 友香
欠席委員の氏名	会議事項		
<p>(1) 審議事項</p> <p>① 高根沢町学校教育基本計画（案）について ② 高根沢町学校規模適正化の検討について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>① 令和7年度松谷正光ドリーム事業「夢見る授業」について</p> <p>(3) その他</p> <p>① その他</p>			

議 事 の 経 過

坂本教育長	<p>委員の出席は4名で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項による半数以上の出席を得ているため、教育委員会を開催します。</p> <p>(あいさつ)</p> <p>議事に入る前に、11月の教育委員会定例会の会議録を承認してよろしいか諮ります。</p>
委 員	(異議なし)
坂本教育長	<p>異議なしと認め、高根沢町教育委員会11月定例会の会議録を承認します。また、本日（12月）の会議録署名人に齋藤委員を指名します。書記については、学校教育課の細谷主事を指名します。</p> <p>議事に入ります。審議事項①高根沢町学校教育基本計画（案）について事務局から説明をお願いします。</p>
村上係長兼指導主事	<p>【説明要旨】</p> <p>○学校教育の基本的方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小中一貫教育の推進」を高根沢町の学校教育の基盤とする。 ・「キャリア教育」と「英語教育」の二つの柱を重点項目として取り組んでいく。
今平課長補佐兼管理主事兼指導主事	<p>【説明要旨】</p> <p>小中一貫教育の取組について、前回の教育委員会でご意見いただいたものを資料に反映。基本方針、ねらい、推進組織等について説明。</p>
坂本教育長	本件について、委員から意見等はありますか。
佐藤委員	小学校と中学校の先生方が人事異動を通じて相互に交流する例はあるのでしょうか。教員の免許に関する問題なども生じるかもしれません、小中一貫教育を進める上では、共通の免許を持つ教員の配置や、先生方の兼務といった視点も必要になるかと思います。
今平課長補佐兼管理主事兼指導主事	<p>小学校と中学校の先生が交流するという大規模な取組はありませんが、英語教育においては、中学校の英語教員が兼務発令を受けて小学校でも指導ができるようになっています。この体制を生かし、小学校6年生が中学校に上がる際、中学校での英語の授業とのギャップをなくすよう配慮しています。</p> <p>中学校の先生が小学校で行う英語の授業は、その内容を小中学校の先生方と共有しています。</p>
坂本教育長	小中一貫教育について、私自身も様々な調査を行った際、他県や他市町において、単なる小規模施設の併設を超え、一体型の学校運営を行っている事例を見ました。具体的には、中学校の教員が小学校で、また小学校の教員が中学校で授業を行う「乗り入れ事業」を実施しているケースがありました。

議 事 の 経 過

	<p>しかしながら、以前に比べて教員の免許に関するハードルが高く、現在では小・中学校両方の免許を保有している教員が減少傾向にあります。これは、教員養成系の大学において、かつては小学校教諭と中学校教諭（特に家庭科など）の免許を両方取得するケースや、その逆のケースが比較的多く見られましたが、現在では「中学校教諭のみ」や「小学校教諭のみ」の免許でそれぞれの学校に勤める教員が非常に多くなっているためです。この状況下で小中一貫教育を推進していくためには、教員の勤務環境を十分に整備しないと、教員が相互に乗り入れ授業を行うことは難しくなりつつあります。</p> <p>本町としては、現状で実施可能な範囲から取り組むことを検討しております。例えば、現在、英語科では中学校教員が小学校で授業を行うことが承認されており、実際に授業を担当できる教員がいれば良いのですが、それが難しい場合は、中学校教員が小学校で、小学校教員が中学校で、それぞれ授業見学や研修を行う機会は現在も設けております。</p>
坂本教育長	ほかにご意見はありますか。
佐藤委員	小中一貫教育推進協議会のチェックはどのように機能していますか。
今平課長補佐 兼管理主事兼 指導主事	各ブロック、および各部会の取組が、実際の活動の中心となります。組織の上位にある推進協議会および推進委員会や担当者会議が、それぞれ進捗状況を把握し、管理を進めていくことになります。これらの会議には教育委員会事務局も参加しておりますので、事務局からも進捗状況をご報告しております。その報告を通じて、進捗状況の確認やチェックをしていただいたり、またご意見を頂戴したりすることで、より良い形に改善を図っております。
岡本委員	<p>現在、英語の授業に限定して年に 1 回実施されているとのことでしたが、この訪問回数を増やすことは可能でしょうか。</p> <p>小学校の ALT2 名の勤務状況が 6 点満点中 3.15 点と、改善傾向にあるとはいえ、依然として問題があるとの記述がありました。また、外部の方々や先生方からも、小学校の英語教育にはまだ不足している点があるという声も伺っております。</p> <p>小中学校間の連携を深めるのであれば、中学校の先生が小学校の英語の授業に関わる機会をもう少し増やすべきではないかと考えております。これは、中学校の先生方が持つ英語教育指導の経験や、子どもたちへの関わり方が、小学校の ALT の先生方とは異なる場合があると感じているためです。指導方法の違いを乗り越え、より多角的な視点から指導に関与できる可能性があるのではないかでしょうか。その機会をもう少し増やすことはできないか、という点が疑問です。</p>

議 事 の 経 過

今平課長補佐 兼管理主事兼 指導主事 村上係長兼 指導主事	<p>英語の乗り入れ事業についてですが、毎年3月に一度実施しております。</p> <p>これは、中学校の卒業が小学校よりも早い時期のため、小学校の卒業式までの間、中学校3年生の授業に空きが生じる期間があることを活用したものです。</p>
坂本教育長	<p>中学校の英語の先生が小学校を訪問するのは1回、また、中学校のALTの先生が小学校に出向くのも同様に1回です。また、ALTの先生が国際理解週間に大変楽しく活動してくださっており、それが好評であると伺っております。</p> <p>さらに、課題としては、小学校におけるALTの仕事内容や勤務体系が挙げられます。これについては解決を図る予定です。</p> <p>他に意見はありますか。</p>
中野委員	<p>不登校支援体制の充実について、不登校支援室「ひよこの家」や「家庭学習支援センター」、そして「校内教育支援センター」といった取組が明示されており、これらは、他市町村と比較して、本町の不登校支援体制が格段に充実していることを示しているものと認識しております。しかし、これはあくまで、すでに不登校となった児童生徒への様々な支援策であり、不登校の出現率を低減させるという視点が含まれていません。</p> <p>不登校の未然防止には、学校や先生方が子どもたちと日頃から向き合い、個別の状況を把握し、早期に介入していくといった取組が不可欠です。この点については、今後開催される指導部会などで、ぜひ重点的に取り上げて議論していただきたいです。</p>
坂本教育長	ご意見としていただきます。他に意見等ございますか。
佐藤委員	「自己指導能力」という言葉が出ました。この言葉は一般的にはあまり使われないように思われますので、どのように理解すればよろしいでしょうか。
村上係長兼 指導主事	自己指導能力とは、自らをよりよく変えていくか、という内容の言葉になります。この言葉は、現場指導では使われている表現です。
坂本教育長	他に意見等ございますか。
委員	(意見なし)
坂本教育長	今回のご意見をもとに、本計画に加筆修正を加えていきます。意見等なければ、審議事項①について承認してよろしいですか。
委員	(異議なし)
坂本教育長	審議事項①高根沢町学校教育基本計画（案）について承認します。 続いて、審議事項②高根沢町学校規模適正化の検討について事務局から説明を

議 事 の 経 過

	お願いします。
加藤課長	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6、7 ページおよび 13 ページに記載されている内容は、現時点では字面のみの記述ですが、最終的には図表などの整理をする予定です。本日は、この記載内容の、考え方や要件についてご意見をいただければと考えております。 ・子どもたち一人ひとりが、自分の良さに気づき、自信を持って前向きに挑戦できる自己肯定感を育むことが重要であること。また、他者に認められ、社会に必要とされていると感じることで自尊感情を高め、さらに他者を尊重し、協働して課題解決に取り組む自己有用感を培うことを目指しています。 ・学校基本計画の上位計画として、教育大綱に「誰一人取り残されず、全ての人の可能性を尊重する共生社会の実現に向けた教育」を掲げています。その実現のためには、様々な課題を抱える子供たちが等しく、安心して楽しく学べる環境の整備が不可欠です。この教育大綱の理念を、学校適正化においても重視し、計画に反映させていきたいと考えています。 ・課題として小規模小学校では、6 年間同じ児童が同じ学年で過ごすことによる様々な課題が指摘されています。地域の実情も踏まえ、学校規模適正化による小学校の統合を通じて、より多くの多様な児童が交流し、コミュニケーションを通じて良好な人間関係を構築することを目標に掲げます。 ・児童一人ひとりがのびのびと安心して楽しく学校生活を送り、学習に意欲的に取り組める環境を実現したいと考えています。
坂本教育長	本件について、意見等ございますか。
齋藤委員	内容はとても良いが、文字が多く伝わりにくい。文章だけで表記するのではなく、二重囲みで強調し、一定のキーワードで示すなど、もっとわかりやすく伝えることが必要だと感じました。
坂本教育長	次回には修正したいと思います。他に意見等はありますか。
岡本委員	<p>この内容は、第 3 章ではなく冒頭に配置し、「現状と課題」に含める方が良いと思います。</p> <p>また、資料に「子どもたちのいじめや不登校という問題」との記述がありますが、保護者や子供たちの中には、不登校を「問題」と捉える表現に抵抗を感じる方もいらっしゃいます。いじめは問題であると認識しておりますが、不登校も同様に「問題」として位置づけて良いものでしょうか。</p>
坂本教育長	現在、不登校は問題行動とは捉えられていません。以前は、国や県の調査において不登校が問題行動調査の項目に含まれていましたが、「その分類は不適切であ

議 事 の 経 過

	る」との指摘を受け、現在は改められています。修正させていただきます。
坂本教育長	他に意見等ございますか。
中野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・誰一人取り残さない教育 町民を対象とし、誰一人として教育の機会からこぼれ落ちることのない体制を築くこと。 ・様々な課題に対応する教育：地域が抱える多様な課題に対し、教育を通じて解決を図ること。 <p>この二つの理念は、これまでの各種施策を推進する上での根幹となってきたものであり、今後も町の教育における最も重要な柱として機能すると確信しています。</p>
坂本教育長	他に意見はありますか。なければ事務局から説明の続きをお願いします。
加藤課長	今後の統合準備のプロセスについて、新たに2つの学校を統合した学校を運営していくに当たっては、新しい学校の「学校名」や「校歌」をどうするかといったことから、PTAや育成会等の組織体制や運営をどのようにしていくか、新たな統合校での教育の在り方をどのようにしていくかなど、様々な点について、関係者が協議検討していく必要があります。そのため、関係代表者による準備検討組織を立ち上げて、協議検討を進めていく予定です。関係者共通の学校全体に係る課題を協議し、関係者による部会に分かれて、細かな課題について協議を進めていくイメージです。
坂本教育長	本件について、意見等ありますか。
齋藤委員	<p>統合第一段階の表記について、2点懸念があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一に、学校の統合に関する表現です。「上高根沢小学校は東小学校に統合する」という表記では、一方的に吸収されるかのような印象を与えかねないと思います。統合される側の学校の存在を尊重し、対等な関係性を示すためにも、「上高根沢小学校と東小学校を統合する」のように両校を併記する形に修正すると、「一緒になる」という対等な統合のイメージがより伝わりやすくなるかと存じます。 ・第二に「(特定の中学校区の)児童は○○小学校に統合する」という書き方は、児童が主体ではないため、「中央小学校の児童については、阿久津中学校区の小学校へ」のように、より配慮のある表現が望ましいと感じました。
加藤課長	前回ご指摘いただいた内容に基づき、計画の策定を進めてまいります。
教育長	他いかがでしょうか。
岡本委員	各学校がそれぞれ避難所に指定されているため、学校統合後は統合先の学校を避難所として利用することになるのか、という趣旨の記述がありました。この点は、統合による影響が比較的小さい地域の住民にとっても関心事だと思われます。

議 事 の 経 過

加藤課長	防災の観点から、町の担当部局において、どこを避難場所として利用するのかを、再検討する必要があります。その点を踏まえた防災計画を、来年度にかけて策定していくことになります。
坂本教育長	他いかがでしょうか。なければ審議事項②について承認してよろしいですか。
委 員	(異議なし)
坂本教育長	審議事項②高根沢町学校規模適正化の検討について承認します。 続いて、報告事項①令和7年度松谷正光ドリーム事業「夢見る授業」について事務局から説明お願いします。
石嶋課長	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土を愛する心を育むことを目的に、松谷正光ドリーム事業により『夢見る授業』を実施する。 ・講演日時 令和8年1月28日（水） 午前10時～11時30分（オンライン配信） ・講師 工藤 公康（福岡ソフトバンクホークス元監督）
坂本教育長	本件について、質問等ございますか。
委員	(質問なし)
坂本教育長	なければ報告事項①について承認してよろしいですか。
委員	(異議なし)
坂本教育長	報告事項①令和7年度松谷正光ドリーム事業「夢見る授業」について承認します。 その他として、何か連絡事項はありますか。
	～それぞれ連絡事項の共有～
坂本教育長	<p>本日予定していた議題は以上となります。</p> <p>次回は1月21日（水）15時00分から教育委員会定例会の開催を予定しています。</p> <p>以上をもちまして12月の教育委員会定例会を閉会します。</p>

教育委員会会議規則第20条の規定により、署名する。

令和7年12月17日

教育委員会委員